

# きょうこう通信

おきなわ No.019

2019年(令和元年)10月1日

企画・編集・発行:公益財団法人  
日本教育公務員弘済会 沖縄支部  
(株)沖縄教弘

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12  
TEL:098-867-1765 FAX:098-869-3544  
<http://www.nikkyoko-okinawa.jp>

南風原小学校における事業説明会・セミナー



## 幼保連携型認定子ども園 はなぞのこどもえん 積み木遊びに研究助成金活用

「子ども一人一人の感性と発想・想像力が掻き立てられ、湧き出てくる元気とチャレンジする勇気を持ち、おなかを抱えるほど笑う」そんな時間を園生活で体験してほしい。

そのような思いから、2015年4月子ども・子育て支援新制度のスタートと「花園保育園」30年の節目に「花園幼稚園」から「幼保連携型認定子ども園はなぞのこどもえん」へと移行しました。はなぞのほいくえんでは、これまで花園保育園が培ってきた「あかるく・つよく・慈愛の心を育てる」ことを園是(教育方針)とし、宮古島の溢れる自然とボーダレスな繋がりを大切にされた園舎・園庭は「感じる! つながる!」がコンセプト。どこまでも素足で駆け回る子どもたちの心を解き放つ環境でありたいと願っています。(公財)日教弘の研究助成金で子ども達の教材として積み木を購入し活用しています。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会沖縄支部は、「教育の振興」と「教職員の福祉向上」を目的として下記の3大事業を行っています。



# 1. 教育振興事業



## ① 奨学事業 ～無利子で奨学金を貸与・給付～

有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付を行っています。  
 本年度は6月30日(日)に募集を締切り、選考委員会及び幹事会の議を経て日教弘本部へ推薦いたしました。

	2019(令和元)年度実績	累計
<b>貸与奨学金</b>	国立私立大学院、大学、短大等の学生に最高100万円を無利子で貸与。 49名 41,000,000円	5,622名 2,661,550,000円
<b>給付奨学金</b>	県内の公立・私立の高等学校等の生徒を対象に給付。(1校3名以内) 266名 13,300,000円	3,713名 185,650,000円



学校研究助成(当山小学校)

### 宮高生徒2人に奨学金

#### 下地、砂川さん「目標に活用」

日本教育公務員弘済会沖縄支部の上地弘志支部長ら6日、宮古高校(津野良信校長)を訪れ、同校の下地平莉さん(2年)と砂川菜留美さん(3年)に給付型奨学金を贈った。贈呈式は校長等で行われ上地支部長が2人に手渡した。

贈呈式には同支部宮古地区担当の屋嘉比那昭参事も同席。上地支部長は「皆さんは推薦され交付金の決定を受けた。財源は全国の先生活が加入する保険の共済事業から発生する配当金。先生たちの思いに添えてこれからも頑張ってください」と激励した。

交付された砂川さんは「奨学金をありがとう。大学進学を目標に取り組んでいくので活用したい」、下地さんは「奨学金は卒業後の進路までも支えてくれるもの。勉強や部活を充実させていきたい。奨学金の給付ありがとう」と話した。津野校長は「生徒2人に奨学金を給付してくれてありがとう。給付を受けた2人はしっかり活用していくと思う」と謝意を述べた。

日教弘沖縄支部

上地支部長(右から2人目)から奨学金を受け取った砂川さん(左から2人目)、下地さん(中央)＝6日、宮古高校校長室



# ② 教育研究助成事業

～教育研究や実践活動の支援～



学校、教職員及び教育関係団体等が行う教育に関する特に有益な研究（活動）に助成しています。  
本年度は6月30日（日）に募集を締め切り、選考委員会において選考し、幹事会で決定しました。

◎学校研究助成 112校 11,160,000円 2019(令和元)年度実績

No	学校名	学校長名	研究テーマ
1	浦添市立浦添小学校	前田 真利	外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
2	中城村立中城小学校	崎濱 陽子	自分の考えを伝え、広げ、深めることができる児童の育成 ～算数科における主体的な学びを通して～
3	竹富町立大原小学校	宮良 貞光	郷土に誇りをもち、たくましく未来を生き抜く力を身につける児童の育成 ～大原っ子一人一人の「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む～
4	宜野湾市立真志喜中学校	根路銘 敢	思考力・判断力・表現力を育てるための授業の工夫 ～「主体的・対話的で深い学び」を引き出す授業を通して～
5	宜野湾村立宜野座中学校	呉屋 江山	自ら考え判断し、主体的に学ぶ生徒の育成
6	沖縄県立コザ高等学校 定時制課程	東盛 敬	卒業後にビジネスシーンで活用する基本的スキルの育成と伸張をめざす体験型実習
7	沖縄県立那覇商業高等学校 定時制課程	與那覇 正人	ICT機器を活用した会議の先行的な研究
8	沖縄県立那覇商業高等学校	與那覇 正人	ICT機器を活用した会議の先行的な研究
9	沖縄県立那覇工業高等学校 定時制課程	大城 栄三	NC工作機械を用いた生徒の実態に合わせた授業内容の工夫
10	沖縄県立陽明高等支援学校	知名 朝次	新学習指導要領の改訂に伴う高等特別支援学校における授業改善
11	沖縄県立中部農林高等支援学校	前川 守克	生徒が将来の職業的・社会的自立を目指した技能習得に向けての指導方法の研究
12	石垣市立真喜良小学校	仲吉 永克	主体的・対話的に「学ぶ力」を育むまきらっ子の育成 ～知・徳・体の人格形成を目指した授業実践を通して～
13	読谷村立古堅南小学校	長嶺 浩也	学びを深める授業作り ～新聞を活用した学習活動を通して～
14	那覇市立壺屋小学校	赤嶺 順昭	運動に親しみ楽しんで運動に取り組む児童の育成 協働的・対話的なゲーム・ボール運動の授業作りを通して
15	浦添市立仲西小学校	島尻 弘子	言葉による見方・考え方を豊かに表現できる子どもの育成
16	沖縄県立比屋根小学校	志堅原 敦彦	主体的に学び合う児童の育成 ～「考え議論する道徳」の授業づくりを通して～
17	南城市立佐敷小学校	嶺井 均	校内ピオトープを活用した教科横断的学習カリキュラムの充実
18	石垣市立崎枝小中学校	今伊 敏郎	地域と連携した学校行事・教育活動を深める取組の推進をめざして
19	竹富町立竹富中学校	黒島 善一	掃除いっばい・花いっばい・おなかいっばいの竹富っ子
20	糸満市立三和中学校	與島 康仁	「対話による深い学び」を目指した学習指導の工夫改善 ～語彙指導を連動させた話し合い活動の工夫～
21	うるま市立あげな中学校	安田 智	考え・議論する道徳の授業づくり ～「発問」の工夫を通して～
22	石垣市立石垣中学校	宮良 信浩	「集団づくり・自主性を高める取組の充実」
23	沖縄県立那覇高等学校	上原 源三	ネーサンヘイル高校との姉妹校交流活動支援
24	沖縄県立南風原高等学校	辻上 弘子	多様な生徒が学び、自己判断につなげるための安全に配慮したわかりやすく行動できる学校づくり
25	渡嘉敷村立阿波連小学校	上原 麗子	望ましい食生活習慣を身に付けた児童の育成 ～自給自足の体験を通して～
26	名護市立名護小学校	大城 勝	自分の思いや考えを豊かに表現できる子どもの育成 ～国語科における言語活動の充実を通して～
27	読谷村立古堅小学校	松田 政美	豊かな言葉・感性・表現力を育む環境構成の工夫 ～ふるさと学習を通して～
28	石垣市立白保小学校	入嵩西 清幸	仲間と関わりながら主体的に学ぶ児童の育成 ～思考を広げ、深める発問の工夫を通して～
29	糸満市立高嶺小学校	上原 博美	「思考力・表現力を育む主体的・対話的で深い学びの工夫」
30	竹富町立船浮小中学校	松堂 直美	学校・家庭・地域と連携しながら、児童生徒の学習環境を整え特色ある信頼される学校づくりをしよう
31	読谷村立読谷小学校	武富 悟	読解力を高めるための「技」の育成 ～既習事項の定着と語彙力の向上を通して～
32	糸満市立瀬平小学校	生盛 晋	自分の考えをもち、表現できる児童の育成 ～国語科の「読むこと」の指導方法の工夫・改善を通して～
33	那覇市立神原小学校	武富 剛	自らの思いや考えを表現し、共に高め合う児童の育成
34	北谷町立浜川小学校	喜屋武 辰弘	アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトでオーストラリアと交流し、壁画を完成させよう。
35	糸満市立真壁小学校	玉城 典男	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～子どもの思考をゆさぶる発問の工夫を通して～
36	西原町立坂田小学校	金城 明美	校内研修を通じ、根拠を持ち対話できる児童の育成を図るため、国語の講師を招聘し実践研究する。
37	石垣市立白石小学校	金城 透彦	知ろう私たちの地域 伝えようすてきなふるさと ～地域の自然・歴史・文化を調べる活動を通して～
38	南城市立玉城小学校	照喜名 朝盛	授業改善と学習基盤の確立 ～国及び県の学力調査等において県平均・全国平均の正答率を目指して～
39	うるま市立城前小学校	上間 三秀	思考力・判断力・表現力を育てる学習指導（～思考を整理し考えを深める構造的な板書、ノートの工夫・改善）
40	うるま市立平敷屋小学校	上原 秀樹	「主体的・対話的で深い学び」に向かう児童の育成を目指した授業改善 ～学習のねらいに迫る意図的・計画的な発問の工夫を通して～
41	宜野湾市立はごろも小学校	仲村 宗男	対話を通して思考を深める学習指導の工夫・改善 ～国語科「説明的文章」の授業づくりを通して～
42	久米島町立仲里小学校	儀間 実子	よりよい集団づくりを目指した学級活動の工夫 ～話し合い活動を通して～
43	本部町立立上本部小学校	小波 克彦	人間力向上を図る小中9年間の学びをつなぐ教育活動の実践 ～小中一貫教育校「立上本部学園」開校に向けて～
44	那覇市立城北小学校	有銘 祐子	発達段階に応じた文字との関わりを通して、文字に親しみ、目的を持って読む子の育成に努める
45	石垣市立吉原小学校	野原 洋子	主体的・対話的で深い学びを育む授業づくり ～国語科を中核とした各教科等における言語活動の充実を通して～
46	豊見城市立豊崎小学校	城田 由勝	共に学び合い、自己を表現できる子どもの育成 ～道徳科における考えたい導入と振り返りの保障を通して～
47	豊見城市立立上田小学校	照星 力男	主体的に学ぶ児童の育成 ～国語科の説明的文章における対話活動の工夫を通して～
48	南城市立立名小学校	比嘉 良雄	自分の考えを持ち、表現できる児童の育成 ～「問い」を引き出す手立ての工夫を通して～
49	糸満市立西崎小学校	大湾 悟	よりよく自己の生き方を考える児童の育成 ～本気にさせる学習過程と中心発問の工夫を通して～
50	うるま市立彩橋小中学校	佐次田 誠	「自らの考えをもち、表現できる児童生徒の育成」 ～「問い」が生まれる授業実践を通して～
51	うるま市立天願小学校	伊波 正明	「主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造」 ～特別活動を中心とした話し合い活動の指導を通じて～
52	名護市立大宮小学校	豊里 寿	児童一人一人の「確かな学力」の向上を図る授業の創造
53	与那原町立与那原小学校	棚田 彰夫	自分の考えを表現できる児童の育成 ～国語科における「話すこと・聞くこと」の指導を通して～
54	本部町立瀬底小学校	座間味 靖	読み取る力を育む授業の改善 ～対話的で深い学びを目指した指導の工夫～
55	石垣市立野底小学校	安谷屋 正史	自ら学び、自分の考えや思いを表現できる子の育成 ～外国語活動における学び合いの工夫を通して～
56	恩納村立喜瀬武原小中学校	宇江城 安朋	ふるさとに誇りを持ち心豊かにたくましく生きる子どもを学校と家庭・地域が連携・協力して育む
57	那覇市立城東小学校	平敷 兼栄	学び合い・高め合う授業づくり ～説明文における言語活動の充実～
58	那覇市立高良小学校	多和田 悦子	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科の授業作り ～児童に「問い」が生まれる数学的活動の工夫を通して～
59	宮古島市立平良第一小学校	川上 尚栄	環境美化活動に関心をもち、自ら進んで環境美化活動に関わろうとする児童の育成～環境美化活動を通して～
60	緑風学園 久志小中学校	伊波 和子	9年間の学びをつなぐ教育活動の実践 ～思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成～
61	石垣市立八島小学校	吉濱 徳子	児童一人一人の「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む
62	恩納村立山田小中学校	佐次田 直人	豊かな心を育む「道徳科」授業の工夫 ～子ども主体的・対話的な深い学びを行う活動を通して～
63	沖縄県立美原小学校	高良 京子	「自ら考え、判断し、表現する力を育てる」ための指導の工夫（話し合い活動を取り入れた授業展開を通して）
64	石垣市立石垣中学校	市原 教孝	仲間と関わりながら主体的に学ぶ児童の育成 ～言語活動を通して思考する授業作り～
65	那覇市立石田中学校	佐久川 譲治	俯瞰する生徒の育成 ～メタ認知的活動を通して～
66	糸満市立瀬平中学校	柳井 倉人	校内美化に係る生徒の情緒の育成 ～美術部等による掲示物の充実を通して～
67	中城村立中城中学校	平良 正哉	「知識の理解の質を高め資質・能力を育む授業づくり」
68	西原町立西原中学校	斉藤 美喜夫	思考力・判断力・表現力等の育成を図る指導の工夫 ～各教科の特性や領域のねらいを生かした指導を通して～



No.	学校名	学校長名	研究テーマ
69	南城市立佐敷中学校	金丸 利康	確かな学力を育む授業づくり ～授業リフレクションの導入による教科海の充実と主体的、対話的で深い学びを通して～
70	竹富町立船浦中学校	仲田 欣五	「ふるさと学習・自己発見」総合的な学習の時間をとおして
71	宜野湾市立宜野湾中学校	崎原 盛幸	「他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業づくり
72	南城市立大里中学校	羽根田 幸江	確かな学力の向上を目指した学習指導の工夫改善 ～「主体的・対話的で深い学び」のある学習活動を通して～
73	南風原町立南風原中学校	淵田 立身	「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業の工夫改善
74	豊見城市立長嶺中学校	上江田 敏博	「確かな学力の向上を目指した授業改善の推進」(対話を取り入れた授業づくり)を通して
75	豊見城市立豊見城中学校	川上 一	「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上 ～生徒の主体的・対話的で深い学びのある授業を通して～
76	今帰仁村立今帰仁中学校	大城 正章	「思考力・判断力・表現力の育成」～UD(ユニバーサルデザイン)の視点を取り入れた授業改善を通して～
77	豊見城市立伊良波中学校	比嘉 清喜	「主体的に学び合い高め合う生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善を通して～
78	名護市立大宮中学校	根路銘 国斗	「なすことによって学ぶ」～自分なりの考えを持ち、互いに練り合い、共に実践する活動をおして～
79	読谷村立読谷中学校	宮里 友昭	「みんなの思いでつなぐ未来への架け橋」～気づき・考え・行動する～体験学習(平和学習)を通して
80	石垣市立大浜中学校	島仲 信秀	「道徳性を育む道徳教育づくり」～授業、学校生活をつなぐ活動を通して～
81	沖縄県立沖繩東中学校	前泊 一郎	確かな学力の定着と主体的に学ぶ生徒の育成 ～共に学び合い考えを深める授業づくりの工夫を通して～
82	南城市立知念中学校	垣花 英正	「わかる授業」「参加する授業」を目指した授業改善 ～「学力向上推進プロジェクト」の活用を目指して～
83	沖縄県立糸満高等学校	島仲 利泰	学校防災システムを利用した地震・津波防災体制づくり
84	沖縄県立八重山農林高等学校	山城 聡	六次産業としての焼酎試験開発
85	沖縄県立那覇西高等学校	上江洲 隆	新入生に向けた進路意識・キャリア意識形成の取り組み ～年度をはじめの「志共有」を通して～
86	沖縄県立名護商工高等学校	新里 彰久	地域の課題解決等を目的とする地域と連携した教育活動の研究及び県産食材を使用した商品開発の研究
87	沖縄県立普天間高等学校	大濱 裕司	自身のあり方を見つめ、自己目標達成に向けて主体的に取り組む姿勢の育成
88	沖縄県立北部農林高等学校	新垣 博之	生徒の自主性を高め、やる気を引き出す学校活性化の取組
89	沖縄県立南部商業高等学校	仲山 久美子	新学習指導要領におけるキャリア教育の必要性
90	沖縄県立沖繩水産高等学校	渡久山 英雅	本校総合学科食品科学系列の外部に向けた諸活動の効果的なPRの研究
91	沖縄県立北中城高等学校	岩崎 勝久	自己肯定感や自己有用感の向上につながるキャリア教育
92	沖縄県立コザ高等学校	東盛 敬	IT技術を活用した空手道の普及・発展
93	沖縄県立泡瀬特別支援学校	長浜 勝直	肢体不自由特別支援における支援機器等を活用した学習環境の充実
94	沖縄県立島尻特別支援学校	比嘉 朝子	「授業改善」をテーマとした、PDCAの確立 ～年3回の授業研究会から、PDCA意識の確立を目指す～
95	沖縄県立コザ小学校	桑江 常健	「主体的・対話的で深い学び」につながる学習指導法の工夫 ～説明的文章の指導を通して～
96	沖縄県立諸見小学校	佐久川 政昭	算数の力を高める確かめ問題の取組み
97	読谷村立喜名小学校	外間 香代子	自ら考え判断し、他者とともによりよく生きる児童の育成 ～「考え議論する道徳」「評価の工夫」の授業作りを通して～
98	浦添市立当山小学校	吉野 淳	共に学び、主体的に運動に親しむ児童の育成 ～効果的な授業の工夫と運動遊びの実践を通して～
99	沖縄県立美東中学校	仲宗根 賢	情操豊かで思いやりのある生徒の育成 ～道徳の授業と評価の改善を通して～
100	沖縄県立辺土名高等学校	永山 俊	学校まるごと生き物博物館計画
101	沖縄県立北高高等学校	有銘 盛和	身近な環境に関心を持ち環境づくりに関わる態度の育成 ～学校・保護者・地域と連携した環境整備活動～
102	うるま市立与那城小学校	花城 修	自分の考えを表現できる児童の育成 ～読みから表現につなげるための「説明的文章」の指導を通して～
103	うるま市立伊波中学校	宇江城 聖子	学校と家庭、地域が連携し、子供たちと共に学び、共に育ち、地域を創る人材「伊波人」を育成する
104	伊江村立伊江中学校	新垣 博文	「自ら学びを深める生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びの授業実践を通して～
105	北谷町立桑江中学校	多和田 勝	学習規律の確立を基盤とした「確かな学力」と「豊かな心」の育成 ～ICT機器の効果的な活用を通して～
106	沖縄県立開邦中学校・高等学校	宮城 薫	学校の広報活動を活性化させるための実践的取組
107	沖縄県立美里高等学校	高江洲 武	「総合的な探求の時間」のカリキュラム作成に係る研究
108	沖縄県立美栄特別支援学校(はなき分校)	大城 麻紀子	「生活する力・人(社会)との関わりを高める授業改善
109	糸満市立真壁こども園	瀬名波真由美	主体的に活動できる園児の育成 ～いきいきと生活し、自ら遊びたくなる環境づくりをめざして～
110	幼保連携型あすなろ認定こども園	具志堅千賀子	職員の資質向上「児の気持ちに寄り添う」保育、教育観
111	幼保連携型あすなろ東認定こども園	仲村 美香	「教育・保育の質や専門性を高める」研究課題 自然学習の方法
112	中城村立津覇幼稚園	新里 美成	楽しめる食育活動を通して ～食事のマナーの大切さに気付くための援助の工夫～

◎へき地学校教育支援事業助成 15校 750,000円 2019(令和元)年度実績

No.	学校名	学校長	研究テーマ
1	渡名喜村立渡名喜小中学校	甲斐 英児	自ら進んで考える力を身につけた幼児・児童・生徒の育成
2	石垣市立登野城小学校	宮良 勝也	自己を見つめよりよい生き方について考えを深める登小っ子の育成 ～自己の考えを深める授業作りを通して～
3	久米島町立北屋定小学校	平良 健治	算数科や国語科における基礎・基本に定着に向けたタブレットの活用について
4	久米島町立久米島西中学校	宮城 肇	他者と関わりながら、課題解決に向かい「問い」が生まれる授業改善 ～「ファンレーション」を通して思考を深める授業作り～
5	宮古島市立久松小学校	砂川 茂和	家庭学習の充実に向けた取組として学校独自の「家庭学習ノート」を活用した確かな学力の向上
6	多良間町立多良間小学校	與那覇盛彦	ふるさとをほごりに思う児童の育成 ～子ども趣味の講座を通して～
7	宮古島市立下地小学校	乾 邦夫	「確かな学力」をほぐむ国語科・算数科の授業づくり ～学び合う学習集団づくりを通して～
8	渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校	川満 恵昌	生きる力を育む体育的活動 ～一輪車の活動を通して～
9	宮古島市立狩保中学校	久高 三彦	思いやりのある豊かな心の育成 ～花づくりを通して～
10	宮古島市立下地中学校	濱川 成共	第40回 下地中学校「強歩大会」
11	宮古島市立西辺中学校	渡久山英徳	地域人材等を活用した「たまうつ講話」「たまうつ授業」
12	宮古島市立久松中学校	宮國 幸夫	道徳教育と特別支援に関する研修の充実
13	伊是名村立伊是名小学校	島川 直樹	子供の「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業づくり
14	宮古島市立西辺小学校	仲樹 京子	児童一人ひとりの「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む
15	宮古島市立伊良部島小中学校	宮城 克典	Play広場を活用した一校一運動と昔の道具遊びによる体力づくり

◎教育団体研究助成 32団体 8,270,000円 2019(令和元)年度実績

No.	所属所名	No.	所属所名	No.	所属所名	No.	所属所名
1	沖縄県教職員組合(本部)	9	沖縄県小学校長会	17	沖縄県立学校事務職員協会	25	沖縄県高等学校定時制通信制教頭・副校長協会
2	沖縄県教職員組合 国頭支部	10	沖縄県中学校長会	18	沖縄県立学校事務長会	26	沖縄県学校安全推進協議会
3	沖縄県教職員組合 中頭支部	11	沖縄県高等学校長協会	19	沖縄県へき地教育研究連盟	27	沖縄女子体育連盟
4	沖縄県教職員組合 那覇支部	12	沖縄県特別支援学校長会	20	沖縄県中学校文化連盟	28	いろいろな場所生まれる美術
5	沖縄県教職員組合 島尻支部	13	沖縄県公立小中学校教頭会	21	沖縄県高等学校文化連盟	29	沖縄県マルチメディア教育研究会
6	沖縄県教職員組合 宮古支部	14	沖縄県高等学校教頭・副校長会	22	沖縄県特別支援学校情報研究会	30	中頭地区公立幼稚園・こども園会、こども園長会
7	沖縄県教職員組合 八重山支部	15	沖縄県特別支援学校副校長・教頭会	23	沖縄県高等学校物理情報研究会	31	沖縄県中学校社会科教育研究会
8	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合(高教組)	16	沖縄県公立小中学校事務職員協会	24	沖縄県進路指導研究会	32	島尻地区小学校音楽研究会

◎教育研究大会助成 4団体 250,000円 2019(令和元)年度実績

No.	大会名	No.	大会名
1	九州地区病弱教育研究連盟	3	九州中学校社会科教育研究協議会
2	沖縄県高校生ものづくりコンテスト実行委員会	4	全国高校生自然環境サミット実行委員会



# ◎教育実践研究論文

## 最優秀賞(2編) 研究助成金(個人15万円・共同20万円) 2018(平成30)年度実績

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	沖縄県立中部農林高等学校	教諭 平良 一朗	主体的・対話的で深い学びを目指した農業教育の取り組み ～沖縄伝統島野菜「クワンソウ」の特産品開発及び地域連携を通じた人材育成～
2	沖縄県立那覇特別支援学校	教諭 豊見本公彦 赤松 春香 當山 綾乃	スヌーズレン教育の定義を踏まえた“主体性”を促す指導の教育的効果 ～“学びに向かう力”を育む『OODAループ』型・授業実践と科学的評価の分析より～

## 優秀賞(6編) 研究助成金(個人10万円・共同15万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	那覇市立石嶺こども園	保育教諭 門馬 美規	友達と協同して遊びを進める幼児の育成 ～お店屋さん祭りを通して～
2	うるま市立彩橋小中学校	教諭 儀間 芳奈	郷土愛を育む地域学習 ～訪ね・歩き・見る・聞く活動を通して～
3	石垣市立川原小学校	教諭 磯川 祐樹	思考力・判断力・表現力をはぐくむ探求課題解決学習の工夫 ～地域の教育資源を活用した農業生産活動・販売活動を通して～
4	浦添市立浦西中学校	教諭 名富 綾乃	ことばの力を高め、主体的に書く意欲を促す指導の工夫 ～読み手を意識した事典づくりを通して～
5	沖縄県立沖縄水産高等学校	教諭 加藤 司	高等学校水産科実習における熟練教員の技能の教材化への取り組み ～実習技能の教材化手法の構築と技能動画の評価～
6	沖縄県立宮古総合実業高等学校	教諭 安座間 康	生産性の向上及び経営の改善学習を通して思考力を育む農業教育の取り組み ～地域資源を活用したビジネスプランの作成による地域活性化を目指して～

## 優良賞(33編) 研究助成金(個人5万円・共同10万円)

No.	学校名	職名・氏名	研究テーマ
1	沖縄県立越来幼稚園	副園長 花城 涼子 教諭 田島 早織	好奇心や探究心をもって物事に取り組む子の育成 ～「人・もの・こと」とのかかわりを通して～
2	東村立高江小学校	教諭 野原 敏樹	小規模校における活力ある学校づくり ～児童・保護者・地域との関わり合いを通して～
3	宜野湾市立大山小学校	教諭 田原 悟	未来を拓く児童を育てる社会科の授業づくり ～地域素材の開発と対話を生み出す学びの工夫を通して～
4	嘉手納町立嘉手納小学校	教諭 稲嶺 保	親和的な人間関係を学級内につくりだす学級経営 ～学級集団づくりの5段階をもとに学級の一年を設計する～
5	那覇市立開南小学校	教諭 澤紙 秀典 教諭 喜屋武 仁 教諭 池田 笑美	深い学びを実現させる系統立てた指導の工夫 ～「データの活用」領域の問題意識を大切に活動を通して～
6	那覇市立安謝小学校	教諭 幸地 倫子	支援を要する児童の自己肯定感を育む共に学べる学級作り ～ピア・サポート・プログラムを取り入れて～
7	那覇市立真和志小学校	教諭 新城 秀樹	外国語科における「児童の知的欲求を満たす」授業の工夫 ～文字指導の実践を通して～
8	那覇市立識名小学校	教諭 長元 智	論理的思考力を育む学習指導の工夫 ～「書くこと名人」を取り入れた意見文を書く活動を通して～
9	那覇市立城西小学校	養護教諭 上原 裕子 栄養職員 名城 志野	食物アレルギーをもつ児童の自立へ向けた支援 ～学校内の専門職の支援を通して～
10	那覇市立城西小学校	教諭 古波津美香	低学年における「関心的な見方」の素地を育む指導の工夫 ～「ひざん(2)」の問題提示の工夫と思考したことを表現する活動を通して～
11	与那原町立与那原小学校	教諭 儀間 奏子	小学校における平和教育の可能性について ～学校全体で取り組んだ平和学習と平和集会から見えてきたこと～
12	南風原町立津嘉山小学校	教諭 仲座千恵子	主体的・対話的で深い学びを実現する道徳教育の取り組み ～「考え・議論する道徳」の指導と評価の一体化を通して～
13	南城市立百名小学校	教諭 菅野 朋和	プログラミング的思考を育む学習指導の工夫 ～第6学年理科「電気の利用」におけるプログラミングを通して～
14	宮古島市立福嶺小学校	教諭 宮国 康智 教諭 宮國 博明 教諭 本田さとみ	小小連携を生かした校内研の充実 ～複式学級の「課題」を「利点」にする授業づくりを通して～
15	宮古島市立伊良部小学校	図書館司書補助 平良 絹代	本に親しみ読書の質を高める環境の工夫改善 ～図書館利用の利便性とイベントを通して～
16	石垣市立八島小学校	教諭 金城 里胡	明確な考えを持ち、表現できる児童をめざして ～低学年における書く力の育成のための工夫改善～
17	琉球大学教育学部 附属小学校	教諭 山中 隆行	小学校英語における Photographic memory を活かした読む力を育てる指導の工夫 ～絵カード作成の工夫と指追読みを取り入れた実践を通して～
18	西原町立西原中学校	教諭 森岡 稔	中学校社会(地理的分野)における「チャンブルー学習」の考察 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を目指して～
19	沖縄県立球陽中学校	教頭 伊波 寿光	チームとしての学校作りのために ～管理職の授業実践を基盤とした学力向上を目指して～
20	那覇市立上山中学校	教諭 美差 礼子	理科の見方・考え方を働かせて探求する生徒の育成 ～仮説を基に探求する学習の過程を通して～
21	浦添市立神森中学校	教諭 森田 英樹	社会的な見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力等を育成する学習指導の工夫 ～ICTを活用して郷土の発展のために課題を解決する学習を通して～
22	石垣市立大浜中学校	教諭 岸本 恵一	「確かな学力」を身につけ、豊かな心で生き生きと活動する生徒の育成 ～「大浜中授業スタイル」に基づいた授業展開と「振り返り」指導の工夫を通して～
23	沖縄県立沖縄工業高等学校	教諭 伊志嶺孝子	緊急時対応の充実に向けた取り組み ～PUSH コースを活用した心肺蘇生教育を取り入れて～
24	沖縄県立那覇国際高等学校	教諭 仲村渠実一	「ICTを活用した授業の推進」を促す校内研修の充実化を目指した取り組み ～校内におけるICT推進化に対する課題(モノ・人・時間の不足)解決のススメ～
25	沖縄県立那覇特別支援学校	教諭 崎原 和廣	ライフキャリア教育の視点を踏まえた“主体的に自ら考えて行動できる”部活動指導の工夫 ～陸上競技を通して知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」の育成を目指して～
26	沖縄県立那覇特別支援学校	教諭 平良 朗子	重度・重複障害のある子どもの教化「国語」の観点をういた授業実践 ～「学習到達度チェックリスト」を活用した的確な実態把握と目標設定～
27	沖縄県立西崎特別支援学校	教諭 長浜 洋平 教諭 饒平名恭子 教諭 新垣あづさ	発達課題と生活年齢に応じた性の学び ～「性教育における成果評価尺度」の活用を通して～
28	沖縄県立西崎特別支援学校	教諭 森 陽平	自己肯定感を育む交流学習の試み ～幼稚園との美術交流学習を通して～
29	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 小渡晋二郎	キャリア発達を目指した伝え合う力を育てる指導 ～iPad 版マイクラフトを題材にした場面設定の工夫～
30	沖縄県立八重山特別支援学校	教諭 東江裕二郎 教諭 甲斐田 篤 教諭 仲里 咲夢	重度・重複障害児の意思表示を促す支援機器の活用 ～視線入力機器を用いた主体的なコミュニケーションの拡大～

※ 校種別学校コード順



# ③ 教育文化事業 豊かな文化を育むために

## ◎2019(令和元)年度

クラシックコンサート(宮古地区:10校で実施) 6/3~6/7 いっこく堂講演会(八重山地区:8校で予定) 11/5~11/8

- ・伊良部島小学校
- ・宮古特別支援学校
- ・久松小学校
- ・東小学校
- ・砂川小学校
- ・西城小学校
- ・北小学校
- ・城辺小学校
- ・上野小学校
- ・下地小学校



- ・白保中学校
- ・石垣中学校
- ・大浜中学校
- ・黒島小中学校
- ・富野小中学校
- ・石垣第二中学校
- ・船浦中学校
- ・大原中学校

文化講演会 (第27回教育実践研究論文表彰式において記念講演を予定 2020(令和2)年1月26日(日))

# 2. 福祉事業

※ 会員の福祉の充実に努めています ※対象の会員とは、基本の教弘保険に加入している教弘会員

## ◎2018(平成30)年度実績(19,631,000円)

区分	人数	金額
1.結婚祝金	154人	1,540,000円
2.出産祝金	362人	1,815,000円
3.入学祝金	265人	1,325,000円
4.検診補助 「人間ドック・脳ドック」の補助	4,331人	12,993,000円
5.宿泊補助	819人	1,638,000円
6.研修旅行補助	16人	320,000円

## ◆日教弘ライフサポート倶楽部 お問合せ先

「日教弘ガイダンスセンター」  
tel:0120-371-969  
受付時間 9:30~17:00(土日祝日を除く)

「日教弘ライフサポート倶楽部」  
ホームページ <http://www.nikkyoko.net/>



## ◎損害保険事業

### 2019年度加入のご案内

#### 教職員のみなさま専用の保険

## 教弘まなびやスーパープラン

公益財団法人 日本教育公務員弘済会  
[www.nikkyoko.or.jp](http://www.nikkyoko.or.jp)

教弘まなびやスーパープラン 検索

2019年8月1日始期(保険期間1年)  
(2019年8月1日午後4時~2020年8月1日午後4時)

募集期間 2019年6月3日(月)~7月19日(金)  
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時~2020年8月1日午後4時

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

□授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求  
損害賠償金 お支払済

□一方腕にバネが刺さるケガ、先生個人にケガをさせる  
争訟費用 お支払済

□一方向にバネが刺さるケガ、先生個人にケガをさせる  
争訟費用 お支払済

□自転車で他人にケガをさせる  
損害賠償金 お支払済

□通勤路上で他人にケガをさせる  
損害賠償金 お支払済

□通勤路上で他人にケガをさせる  
損害賠償金 お支払済

約44%割引

※団体割引・優待による割引あり

2019年8月1日始期(保険期間1年)  
(2019年8月1日午後4時~2020年8月1日午後4時)

募集期間 2019年6月3日(月)~7月19日(金)  
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時~2020年8月1日午後4時

教職員賠償責任保険

教職員業務の遂行に起因した損害賠償請求に!

- 1 教職員個人の争訟費用(弁護士費用等)および損害賠償金を補償!
- 2 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償!
- 3 教職員をやめた後になされた請求についても5年間補償!
- 4 初期対応費用も補償!

団体総合生活保険(まなびや)

教育業務遂行中、日常生活の事故やトラブルに!

- 1 ご本人のケガを入院・通院1日目から補償します。
- 2 ご本人およびご家族の日常生活の賠償事故も補償!
- 3 生徒の見舞い費用も補償!
- 4 携行品損害・救護者費用等も補償!

ご本人のケガを入院・通院1日目から補償します。  
学校行事等のケガは倍額補償!  
ご本人およびご家族の日常生活の賠償事故も補償!  
生徒の見舞い費用も補償!  
携行品損害・救護者費用等も補償!

2019年3月作成 募集文書番号18-T09379

## 教弘退職友の会交流会及び事業説明会予定

教弘退職友の会は2017年10月31日に発足し、「相互扶助の精神に則り、会員相互の親睦を図るとともに会員福祉の増進を図り、(公財)日教弘沖縄支部の発展に寄与する」ことを目的に活動しています。昨年度に引き続き今年度も、2月中旬から下旬にかけて「退職友の会交流会及び事業説明会」を各地区ごとに開催することにしています。ご期待ください。

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。保険の内容は、JCNプレントをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

### 2019年度加入のご案内

#### 教職員・退職者およびご家族のみなさま向けの保険

## 教弘フルガード

公益財団法人 日本教育公務員弘済会  
[www.nikkyoko.or.jp](http://www.nikkyoko.or.jp)

2019年8月1日始期(保険期間1年)  
(2019年8月1日午後4時~2020年8月1日午後4時)

募集期間 2019年6月3日(月)~7月19日(金)  
中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時~2020年8月1日午後4時

団体総合生活保険(フルガード)

団体割引・損害率による割引あわせて約44%割引

- 1 ケガによる1日目からの入院・通院を補償!
- 2 天災(地震など)によって生じたケガも補償!
- 3 日常生活に起因する賠償責任を補償します!

加入者資格

公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員
4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘本部および各県の職員
6. 1~5の退職者

補償者にされる方の範囲

公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員
4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘本部および各県の職員
6. 1~5の退職者

※教職員とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等

退職後もご家族もしっかりとお守りします。

フルガードにおけるお取扱い

備書事故(国内外補償)

賠償事故(国内外補償)

携行品損害(国内外補償)

救護者費用等(国内外補償)

2019年3月作成 募集文書番号18-T09379

このご案内は、「団体総合生活保険(フルガード)」の概要について説明したものです。保険の内容は、JCNプレントをご覧ください。詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

## 教弘まなびやスーパープラン及び、教弘フルガードに関するお問い合わせ・資料請求先

代理店 (株)沖繩教弘 TEL 098(867)1765 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12  
提携・引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 那覇支社 TEL 098(867)7733

6 きょうこう通信



# 教職員収入 ロングウェイサポート

団体割引  
**25%**  
割引

自動更新

「病気・ケガで働けなくなったら…」  
そんな時の収入の減少を長期にカバー

長期間働けず収入もストップ・・・  
そんな状態にあなたは耐えられますか？

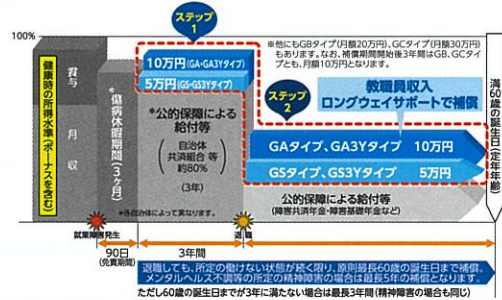


2019年8月1日始期(保険期間1年)

(2019年8月1日午後4時～2020年8月1日午後4時)

募集期間 2019年6月3日(月)～7月19日(金)

中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時～2020年8月1日午後4時



**！** 教職員は公的保障があるから大丈夫！  
と思いませんか？

就業障害が発生した場合、傷病休暇期間、自治体、共済組合等の公的保障を受けられる期間を過ぎると収入が大幅に減少します。

- メリット 01 教職員の方専用の制度設計**  
公立の教職員の方の一般的な傷病休暇期間(3ヶ月)や、その後の公的保障(3年)、公的年金による給付等を考慮した制度設計。
- メリット 02 60歳までの長期間補償**  
病気やケガでの入院や自宅療養中で、健康時のように働けない場合、原則、最長60歳の誕生日まで保険金をお支払いします。
- メリット 03 在宅療養も対象**  
入院だけでなく、在宅療養で働けない場合も補償します。

- メリット 04 精神疾患補償(5年間)**  
うつ病などの精神疾患の場合も最長5年間補償されます。
- メリット 05 職場復帰後も引き続き補償**  
復帰後、身体障害が残ったために所得が健康時の80%未満に減少している場合にも、原則、最長60歳の誕生日まで所得喪失率に応じた保険金が給付されます。
- メリット 06 妊娠・地震(天災)により生じた障害による就業障害も補償**  
妊娠・出産または流産によって生じた身体障害、地震などの天災による身体障害を事由とする就業障害についても補償します。

**FAX資料請求書**

このご案内は、「団体総合生活保険」の概要について説明したものです。保険の内容は、パンフレットをご覧ください。公益財団法人 日本教育公務員弘済会 [www.nikyoko.or.jp](http://www.nikyoko.or.jp)  
詳細は団体が保有する保険約款および特約によりますが、ご不明な点がございましたら、代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

教職員収入ロングウェイサポート 検索



フリガナ		保険料払込方法	集金代行会社による金融機関口座引落し (ほとんどの金融機関がご利用できます。)
お名前		保険料支払方法	年払
勤務先	(〒 - )		
資料送付先	自宅住所		
	電話番号 ( ) -		

**FAX 098-869-3544**

各種保険のお申し込み・お問い合わせ・資料請求先は

代理店 (株)沖縄教弘 Tel. 098(867)1765 〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-7-12  
提携・引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社 沖縄支店 沖縄支社 TEL 098-867-7733(代表)

## 教弘参事 紹介

教弘参事の皆さんが学校等にお伺いして(公財)日教弘沖縄支部の事業内容についてご説明させていただいております。どうぞよろしくお願ひ致します。



**仲間 靖**  
元 開邦高校校長  
県立学校(国頭地区除く)担当



**金城邦明**  
元 久志中学校教頭  
国頭地区(県立学校含む)担当



**高森新一**  
前 美里小学校校長  
中頭地区担当



**金城 毅**  
前 米須小学校校長  
那覇・島尻地区担当



**屋嘉比邦昭**  
元 池間小中学校校長  
宮古地区担当



**宜野座愛子**  
元 富野小中学校校長  
八重山地区担当



# 3. 共済事業(提携保険事業)

※(公財)日教弘では60年以上にわたりジブラルタ生命と提携して共済事業(提携保険事業)を実施しています。

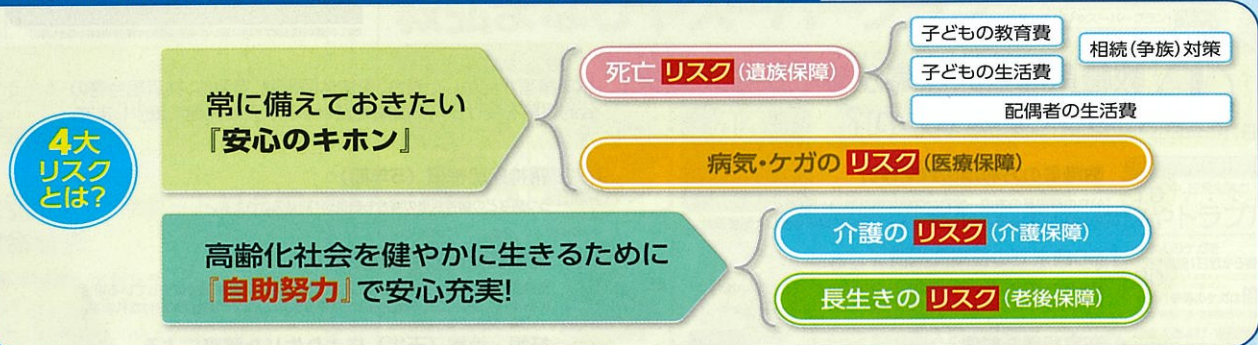


## リスクに備える

～「厄は祖先の徳」はご家族の「お守り」でもあるのです～

いつも子どもたちのために全力投球されている教職員の皆さま。皆さまが安心して暮らしていくためには4大リスクへの備えが重要です。高齢化がますます加速している今、一度立ち止まって皆さまとご家族の将来について考えてみませんか？

現職中も退職後も「4大リスク」への備えは重要です！



「4大リスク」に対応する教職員の皆さまのための教弘保険ラインアップ

新商品

<b>ユース教弘保険</b> 災害割増特約付 集団契約特約付勤労保険	<b>新教弘保険</b> 集団契約特約付勤労保険	<b>新教弘医療保険α</b> (無配当) 医療保険(14) (保険料払込中無解約返戻金型)	<b>新教弘介護保障付 終身保険</b> (無配当) 介護保障付終身保険 (低解約返戻金型)	<b>新教弘米国ドル建 個人年金保険</b> (無配当) 米国ドル建 個人年金保険(19)
--	-----------------------------	---	---	--

公益財団法人 日本教育公務員弘済会(略称:(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

◆為替リスクについて——新教弘米国ドル建個人年金保険は米国ドル建てであり、米国ドルを円に換算するときに為替相場の変動による影響を受けます。したがって、年金受取総額等(米国ドル)を円に換算した場合の金額が、お申込みいただいた円建払込額(円建保険料)を下回ることがあり、損失を生じるおそれがあります。

◆ご契約にかかる費用について——為替交換時(外貨⇄円)には為替交換手数料がかかります。また、保険契約の締結・維持、死亡保障に係る費用等が発生します。

※ご契約の際はジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントを通じて「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

●記載の内容は2019年1月4日現在のものであり、今後変更されることがあります。

共済事業(提携保険事業) 提携会社 **ジブラルタ生命保険株式会社** 本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10 教職員のお客様 **0120-37-9419** (通話料無料)

## ジブラルタ生命 沖縄支社各営業所連絡先

営業所名	所長名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
名 護	三 浦 寛 也	905-0021	名護市東江5-11-1 2F	0980-52-2517	0980-53-3045
コザ 第一	内 山 聖 隆	904-2244	うるま市江洲405-1 サンライズ江洲ビル2階	098-974-5231	098-974-5188
コザ 第二	三木田 史 郎	904-2244	うるま市江洲405-1 サンライズ江洲ビル3階	098-974-5233	098-974-5281
沖縄 第一	中 尾 裕 仁	900-0006	那覇市おもろまち1-1-2 新都心センタービル 5F	098-860-1271	098-866-5408
沖縄 第二	山 崎 浩 次				
那覇 第三	阿 部 智 徳				
那覇 第四	宮 城 肇				
豊見城 第一	水 野 恵 子	901-0241	豊見城市宇豊見城1138 2F	098-850-0805	098-850-0969
豊見城 第二	奥 田 知 義	906-0012	宮古島市平良字西里391 2F	0980-72-1766	0980-75-4717
宮古 島	川 崎 健				
八 重 山	江 藤 甚之助				

### こんな時はお電話を

- 病气やケガをされた場合
  - ご登録いただいている内容に変更があった場合
  - ご契約の内容を変更したい場合
  - 保険証券をなくされた場合
- その他、お気軽にご相談ください。

教弘保険に関するお問い合わせは、教職員専用ダイヤルへ  
各種お問い合わせは、ジブラルタ生命コールセンターまで

教職員専用 通話料無料 **0120-37-9419**

受付時間  
平日 9:00~18:00  
土曜 9:00~17:00  
(日・祝を除く)

※この他に一般顧客用0120-37-2269もご利用ください。

この「きょうこう通信No.019」をお届けしましたのは

営業所

です。

どうぞご覧ください